

2022年度事業の点検・評価（詳細）

※ は特に重点をおいて取り組む事業

事業計画の評価区分		目標達成状況（評価の目安）
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満
—	対象年度に、事業の実施が無い等により、評価不能の場合	

別表

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価		
			事業計画	取組状況	理由
1 すべての県民への図書館サービスの提供	① 誰でも利用しやすい図書館サービスの推進	障害者、高齢者、外国人などのニーズに即した図書館サービスを推進します。安全で快適かつ魅力的で利便性の高い施設環境を整備し、多様な交流と学習、探求、発見、賑わいの場を提供し、多様な利用者のそれぞれの居場所となれる図書館を目指します。	(障害のある方へのサービス) (1) New! 視覚障害者等への朗読サービスを行うボランティア養成講座（中級）を開催します。	○朗読協力員養成講座（中級）を実施した（全5回、5/19～7/7）。	- A 朗読協力員養成講座（中級）を実施し、朗読協力員のスキルアップができたため。
			(2) 社会生活を営む上でハンディキャップのある方への理解を深めていただくための資料の展示会や障害者の方の作品展などの企画展示事業を1回以上実施します。	○「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」県入賞作品展の展示を実施した（12/13～12/27）。 ○あいちアール・ブリュット作品展を開催した（1/13～2/28）。	A A ハンディキャップのある方への理解を深めていただくための企画展示事業を2回実施したため。
			(高齢者の方へのサービス) (3) 感染症拡大防止に注意を払いながら、資料の展示会の実施などの代替企画の実施も念頭に置き、一般向けの健康講座を実施します。	○健康講座「がん相談会」は、コロナ感染拡大のため中止としたが、資料の展示は実施した。 ○認知症啓発展示の関連イベントとして「認知症サポーター養成講座（初級編）」を実施した。	B B 「がん相談会」は中止となったが、「認知症サポーター養成講座」を実施することができたため。
			(4) 読書補助具の点検を行い、必要に応じて更新等を実施します。	○各カウンターで日常的に点検した。	A A 日常的に点検を実施しているため。
			(外国人県民の方へのサービス) (5) 多文化サービスコーナーを充実するため、各外国語図書（日本語学習用資料を含む。）について、100冊を目標に収集します。	○多文化サービスコーナー用の各外国語図書（日本語学習用資料を含む。）について、160冊（うち電子書籍12冊）を収集した。	A A 目標を上回る図書を収集し、コーナーの充実を図ることができたため。
			(6) 多文化サービスコーナーの活用を図るためコーナーの利便性向上や効果的な広報に努めます。	○「やさしいにほんご」を用いた図書館案内チラシを作成し、当館内及び関係機関等に配布した。	A A 既存の外国語に加え「やさしいにほんご」を用いた図書館案内を行うことで、コーナーの利便性向上及び多様な外国人県民の方への効果的な広報を行うことができたため。
			(子育て支援サービス) (7) 「おはなし会」を、安全対策をとり実施します。	○人数制限等の対策を取りつつ、おはなし会を毎月6回（休館日にあたる日を除く）、計65回実施した。 ○職員が行う「冬のお楽しみ会」を3年ぶりに開催した（12/23）。	A A 感染対策に留意しながら、コロナ前とほぼ同じ回数のおはなし会を実施できたため。
			(8) 子育ての方に役立つ他の機関や団体のチラシやパンフレット類を常備し、案内・配布します。	○子ども向けのイベントや子育て関連のチラシ等を児童室内に常備し、案内・配布した。	A A 子ども向け、子育て関連のチラシ等の配布により、児童室利用者に役立つ情報を提供できたため。

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価					
			事業計画	取組状況	理由			
			昨年度 評価	今年度 評価				
1 すべての県民への図書館サービスの提供	① 誰でも利用しやすい図書館サービスの推進	障害者、高齢者、外国人などのニーズに即した図書館サービスを推進します。安全で快適かつ魅力的で利便性の高い施設環境を整備し、多様な交流と学習、探求、発見、賑わいの場を提供し、多様な利用者のそれぞれの居場所となれる図書館を目指します。	(施設環境・学習環境の整備)					
			(9) 来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に運用します。	○Aichi_Free_Wi-Fiを全館（1階から5階共用スペース）にて運用している。	A	A	Aichi_Free_Wi-Fiを全館的運用することができたため。	
			(10) 施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・制御・非常照明用直流電源装置更新工事	○以下の工事を実施した。 ・制御・非常照明用直流電源装置更新工事	A	A	当初予定していた工事を実施することができたため。	
			(11) 若者や社会人の学習活動を支援するため、感染症拡大防止（「3密」回避）に留意しながら、大会議室での学習室開放を実施します。	○大会議室での学習室開放を31回実施し、累計で886人が利用した。	A	A	予定通り実施し、多数の利用があったため。	
			(入館者数・利用者の満足度)【運営指標・数値目標見直し】					
			(12) 利用者のニーズに応えるサービスの提供に つとめ、年間44万人以上の入館者数を指すとともに、90%以上の方が来館の目的を達成できるよう資料やサービス環境を整備します。	○入館者数413,568人（目標値の94.0%） ○来館者アンケートによる目標達成率87.6%	B	B	年間入館者数、来館者アンケートの目的達成率ともに目標値をやや下回ったため。	
			(危機管理)					
	(13) 新型コロナウイルスや災害への対応について、業務継続計画（愛知県庁BCP、地方機関BCP）の運用や防災訓練の実施等により、適切に事業継続できる体制を整えます。	○防災訓練を実施した（11/10）。 ○愛知県庁BCPの整理や地方機関BCPの修正を実施した。	A	A	当初予定していた事業計画通り実施することができたため。			
	(「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実)							
	(14) 感染症拡大防止のため外出の自粛等「新しい生活様式」の励行が強く求められていることから、電子書籍サービスの充実やオンライン利用登録の導入等を検討し、非来館型サービスの充実を図ります。	○電子書籍サービスに、新たなタイトルを439点提供開始した。 ○オンライン利用登録を運用した。	A	A	新たに資料を加え、電子書籍サービスの充実を図るとともに、オンライン利用登録を運用することができたため。			
	(15) アンケートの実施等により、利用者層、利用目的等を把握し、今後のサービス内容検討のための資料とします。	○県政世論調査を実施した（7/1～7/20、広報広聴課） ○愛知県図書館ホームページ利用状況アンケートをWeb上で実施した（12/15～1/31）。 ○来館者アンケートを実施した（2/17・2/18）。	A	A	毎年度実施している来館者アンケートに加え、県政世論調査およびホームページ利用状況アンケートを実施したため。			
	② 地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充	地域の課題解決に役立つ図書館をめぐります。ビジネス支援を拡充し、健康・医療サービス、行政支援などのサービスに取り組みます。また、地域の活性化や観光振興などのため、県内各地の取組を紹介したり、交流の場を提供します。	(レファレンス事例の公開登録)					
			(16) 国立国会図書館のレファレンス協同データベースに、事例を20件以上登録します。	○3月末までに20件の事例を登録した。（2022年度現在 累計441件）	A	A	計画どおり、20件のレファレンス事例を登録することができたため。	
			(行政支援サービス)					
(17) 県職員向け「県図書だより」を年間2回以上刊行します。	○2023年3月にVol.1、Vol.2を刊行した。	A	A	年2回刊行し、第二期基本的運営方針の内容などを周知することができたため。				
(18) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特長（ものづくり等）に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。	○政策企画局企画課等、県各局や関係団体と連携・協力した企画展示を31回実施した。 ◀詳細は「事業年報2023年度 X資料 2 展示及び講演会等①企画展示一覧」参照▶	A	A	県各局や関係団体と連携・協力して、県等の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。				

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価		理由			
			事業計画	取組状況		昨年度 評価	今年度 評価	
1 すべての県民への図書館サービスの提供	② 地域の課題解決に役立つ図書館サービスの提供と拡充	地域の課題解決に役立つ図書館をめぐります。ビジネス支援を拡充し、健康・医療サービスのサービスに取り組みます。また、地域の活性化や観光振興などのため、県内各地の取組を紹介したり、交流の場を提供します。	(ビジネス支援サービス)					
			(19) ビジネス支援に関する講演会等の企画や関連資料の展示事業を専門機関や外部の団体と連携して実施します。	○企画展示「起業・事業承継を応援します！」を実施した(1/13～2/28)。関連イベントとして、日本政策金融公庫等と連携してセミナー「人生100年ライフシフトの時代 起業は働く選択肢の一つ」を開催した(2/4)。	A	A	起業に関する展示を実施し、所蔵の関連資料を紹介するとともに、専門機関と連携して起業セミナーを開催できたため。	
			(利用者向け図書館利用講座の実施等)					
			(20) 利用者の調査研究を支援するため、館備え付けのデータベースの活用講座などを実施します。	○講座の開催は行わなかったが、利用者への案内について職員間で情報共有に努め、通常の利用において個別に利用者を支援した。	B	C	個別に利用者を支援したが、講座の開催は行わなかったため。	
			(行政機関・関係団体との連携・協力)					
			(21) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特徴(ものづくり等)に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。《(18)の再掲》	《(18)と同様》	A	A	県各局や関係団体と連携・協力し、複数回の企画展示を実施したため。	
			(22) 2022年度が本県県政150周年であることから、県政にちなんだ講演会などの企画展示を実施します。	○連携イベントを10回実施した。 ・展示「愛知県図書館報あゆみ『愛知が舞台』と県政150周年」(3/17～5/11) ・地域資料展示「愛知県事始め(2) 愛知県の明治」(3/17～6/8) ・リベラルアーツカフェ関連展示「愛知県の建物150年」(7/15～9/7) ・展示「愛知県政150周年紹介パネル展」(10/14～11/9) ・展示「愛知県史展」(10/14～12/27) ・展示「50年前の雑誌を見る」(10/14～2/28) ・展示「150年前の科学技術」(11/11～1/11) ・展示「愛知県政150周年記念「わたしたちの住むまち あいちの未来」絵画コンクール入賞作品展」(12/9～2/8) ・リベラルアーツカフェ2022第1回「愛知県の建物150年」(7/30) ・図書館講演会「あいちの歴史資料をさぐる」(12/17)	A	A	県政150周年にちなんだ企画展示・講演会を複数回実施したため。	
(地域連携)								
(23) 観光情報コーナーについて、県の担当局、県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会等と連携し幅広い観光情報の収集・提供を実施し、充実を図ります。	○県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会、市町村立図書館等に観光情報の提供を依頼し収集・提供を実施した。 ○県内自治体と連携して観光に関連する企画展示(1/13～2/8)、講演会(1/27)を実施した。	A	A	幅広い観光情報の収集・提供に加え、企画展示、講演会を実施することで、コーナーの充実を図ることができたため。				
(24) 東三河コーナーについて、県東三河総局、東三河8市町村の観光関係当局等と連携・協力し、東三河の観光情報の幅広い収集・提供を実施します。また、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施します。	○「愛知県図書館と東三河地域の市町村及び観光団体との地域振興にかかる情報発信の連携・協力に関する協定」の連携先等に観光情報の提供を依頼し、収集・提供を実施した。 ○東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施した(3/16～4/12)。	A	A	幅広い観光情報の収集・提供によるコーナーの充実を図るとともに、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施することができたため。				

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価		理由		
			事業計画	取組状況		昨年度 評価	今年度 評価
1 すべての県民への図書館サービスの提供	③ 学校や地域、家庭での子供読書活動の支援	子供の読書活動を支援するため、学校図書館を始め関係機関・団体と連携し、資料の提供や、活動への支援を進めます。	(県立学校への協力貸出) (25) 県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。対象校を19校以上にします。	○新たに尾北高校、春日井高校、豊橋西高校、豊田南高校、一宮西高校の5校に対して、それぞれ、江南市立図書館、春日井市立図書館、豊橋市中央図書館、豊田中央図書館、一宮市立中央図書館を経由した協力貸出を開始し、対象校を22校とした。	A	A	予定の数を超えて、新規の対象校を増やすことができたため。
			(26) 県図書館から学校（図書館）に向けて年間3,500冊以上の協力貸出を目指します。（市町村立図書館への協力貸出と合わせて16,100冊以上）【運営指標・数値目標見直し】	○学校（図書館）への協力貸出3,471冊・点（図書・A・V）。（市町村立図書館等への協力貸出と合わせて13,686冊・点）。	A	B	学校（図書館）への協力貸出についてはほぼ目標通りの冊数の貸出ができたため。
			(県立高校等と連携した企画展示の実施) (27) 県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を1回以上に実施します。	○以下4回の企画展示を実施した。 ・愛知県統計グラフコンクール金賞作品パネル展（6/10～7/13）【主催：県統計課】 ・愛知県定時制通信制生徒による作品発表会（9/9～10/12）【主催：愛知県定時制通信制教頭・副校長会】 ・愛知県政150周年記念「わたしの住むまち あいちの未来」絵画コンクール入賞作品展（12/9～2/8）【主催：県企画課】 ・心の輪を広げる体験作文・障害者週間ポスター愛知県入選作品展（12/13～12/27）【主催：県障害福祉課】	A	A	Yottekoを活用して、定時制通信制高校生徒の作品展を実施したほか、児童・生徒を対象とした絵画や作文コンクールの入賞作品展を複数回行ったため。
			(子供読書活動のためのアウトリーチ活動の推進) (28) 子供の読書活動推進のため、読み聞かせやブックトークといったイベントでの協力、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。	○以下の教育委員会等主催の講座に講師・スタッフを派遣した。 ・県立高等学校司書教諭研修会（10/7）【主催：県教委高等学校教育課】 ・学校図書館関係職員研修会（10/26）【主催：県教委総合教育センター】 ・高校生ビブリオバトル愛知県大会・子供読書活動推進大会（11/3）【主催：県教委生涯学習課】 ・高等学校初任者研修（11/29）【主催：県高等学校校長会】 ○高校で県政お届け講座を実施し、図書館について説明（1/18）	A	A	県教育委員会主催の研修会等で、子供の読書活動推進につながるよう、図書館活用法の講義や、高校生向けの本の紹介を行ったため。
			(子供読書活動の推進) (29) 子供読書活動推進に係る関係機関や団体等と連携・協力し、イベントや企画展示を実施します。	○子供読書活動推進に係る関係機関や団体等と連携・協力し、以下のイベントを実施した。 ・本の帯コンクール優秀作品展（6/10～6/19）【主催：名古屋市教委】 ・青少年によい本をすすめる県民運動（9/9～10/12）【主催：県社会活動推進課】 ・愛知県子供読書活動推進大会・高校生ビブリオバトル愛知県大会（11/3）【主催：県教委生涯学習課】	A	A	県教育委員会等と連携・協力し、子供読書活動推進に係る展示の実施、子供読書活動推進大会開催への協力を行ったため。

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価		昨年度 評価	今年度 評価	理由		
			事業計画	取組状況					
1 すべての 県民への 図書館サー ビスの提供	④ 資料保存 体制の整 備及びデ ジタル化 の推進	県の拠点図書館としての資料保存の中心的作用を果たすために、資料保存体制を整備するとともに、地域資料を中心にデジタル化を進めます。	(あいちラストワン・プロジェクトの拡大)						
			(30) あいちラストワン・プロジェクトを効果的に進めるため、運用方法の見直しを進めます。	○業務の効率化を図るため、保存対象をより精査できるよう、ガイドラインの見直しを行った。	B	A	予定通り実施できたため。		
			(資料補修研修の実施)						
			(31) 資料補修技術を有する職員養成のため、引き続き研修を実施します。	○館内職員向けの資料補修研修を実施した(6/9)。	A	A	予定通り実施できたため。		
			(資料のデジタル化の推進)						
			(32) New! 貴重本を新たにデータ化し、順次調査したうえで「貴重本デジタルライブラリー」等のホームページで公開します(目標:8タイトル)	○大判絵図や高精細な画像が必要な貴重本等を新たにデータ化したうえで資料調査を進め、「貴重本デジタルライブラリー」等のホームページで17タイトルを公開した。	-	A	貴重本を新たにデータ化したうえで、目標を上回るタイトルを公開できたため。		
2 市町村立 図書館等 への支援	⑤ 協力貸 出、相互 貸借の拡 充	市町村立図書館等との間で運行している資料搬送定期便の効率的な運用により、協力貸出、相互貸借の拡充を図ります。	(市町村立図書館等への協力貸出)【運営指標・数値目標見直し】						
			(34) 県図書館から市町村立図書館に向けて年間12,600冊以上の協力貸出を目指します。(学校(図書館)への協力貸出と合わせて16,100冊以上)	○市町村立図書館等への協力貸出10,215冊・点(図書・AV)。(学校(図書館)への協力貸出と合わせて13,686冊・点)	A	B	目標の80%を超える(85.0%)冊数の貸出を行うことができたため。		
			(資料搬送定期便の維持)						
	(35) 安定した資料搬送のため、予算確保や運行の効率化に努め、週1回の資料定期搬送便を維持します。	○年間を通し、週1回の資料搬送定期便の運行を行った。 ○市町村立図書館職員に適切な利用方法を周知して効率化に努めるとともに、予算を確保し2023年3月から1年間の業者との契約を行った。	A	A	毎週の運行を安定的に行うことができたため。				
	⑥ 市町村立 図書館等 の運用・ 人材育成 の支援	市町村立図書館等が地域の課題解決に資する質の高いサービスを提供できるよう、運用・人材育成を支援します。	(図書館訪問)						
			(36) 県図書館の市町村立図書館へのサポートのニーズを把握し、それぞれの地域での読書推進活動に資するため、感染症の動向を考慮に入れながら、市町村の中央図書館の1/5以上(10館以上)を計画的に訪問します。感染症が収束せず、計画通りの訪問が難しい場合は、訪問以外の方法で市町村立図書館と情報交換を行い、サポートに努めます。	○以下の市町村立図書館(13館)を訪問した。 豊橋市中央図書館、一宮市立中央図書館、瀬戸市立図書館、半田市立図書館、豊田市中央図書館、犬山市立図書館、知立市図書館、高浜市立図書館、岩倉市図書館、田原市中央図書館、清須市立図書館、北名古屋図書館、幸田町立図書館	A	A	予定していた数を超える13館の訪問を行うことができたため。		
(37) 図書館未設置自治体についても、公民館図書室等の施設や読書推進活動の担当課等を1以上訪問し、図書館未設置自治体での読書推進活動を把握します。			○豊根村、東栄町を訪問した。	A	A	予定していた数を超える2件の訪問を行うことができたため。			
(県内の図書館関係者への研修の強化)									
(38) 愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に合った内容の研修を、感染症拡大防止策を講じながら、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。	○以下の研修を実施した。 愛知県公立図書館長協議会主催で3回、愛知図書館協会主催で12回、両団体の共催で2回の研修を実施した。 ◀詳細は「事業年報2023年度 V 2022年度の主要な事業動向 10市町村立図書館等への支援・サービスの状況⑥図書館職員・関係者向け研修の実施のイ、ウ」参照▶	A	A	ほぼコロナ禍前の研修回数を開催できた。集合研修を基本に実施し、加えてできる限り同時配信や録画配信も実施することで、研修機会を増やすことができたため。					

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価					
			事業計画	取組状況	理由			
			昨年度 評価	今年度 評価				
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	⑦ 様々な団体・行政機関と連携する場と機会の提供	各種団体や行政機関と連携して講演会や資料展示会等を開催し、県民の方と県図書館、各種団体及び行政機関が持つ知的資源を結び付けます。	(文化芸術機関等との連携) (39) 愛知芸術文化センター(栄施設)の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会等の企画展示を実施します。	○以下の講演会や企画展示を実施した。 ・文化芸術に関する連続講座 《詳細は「事業年報2023年度 X資料 2 展示及び講演会等①企画展示一覧及び②文化芸術に関する連続講座2022」参照》 ・リベラルアーツカフェ 《詳細は「事業年報2023年度 X資料 2 展示及び講演会等①企画展示一覧②リベラルアーツカフェ」参照》 ・企画展示「祝 ジブリパーク開園！ジブリ関連図書展示」(10/14～12/7)【連携先：ジブリパーク推進課、愛知県美術館】	A	A	県の文化関連施設と連携し、講演会・企画展示を実施したため。	
			(行政機関・関係団体との連携・協力)					
			(40) 県図書館が所蔵する行政資料や地域資料の一層の利活用を図るために、県の事業や本県の特長(ものづくり等)に関連した企画展示を、県各局や関係団体と連携・協力し実施します。《(18)の再掲》	《(18)と同様》	A	A	県各局や関係団体と連携・協力して、県等の事業を紹介するパネル等と、それに関連した図書館資料を併せて展示することにより、資料の利活用につなげることができたため。	
			(41) 2022年度が本県県政150周年であることから、県政にちなんだ講演会などの企画展示を実施します。《(22)の再掲》	《(22)と同様》	A	A	県政150周年にちなんだ企画展示・講演会を複数回実施したため。	
			(県立高校等と連携した企画展示の実施) (42) 県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を1回以上実施します。《(27)の再掲》	《(27)と同様》	A	A	Yottekoを活用して、定時制通信制高校生徒の作品展を実施したほか、児童・生徒を対象とした絵画や作文コンクールの入賞作品展を複数回行ったため。	
			(県公文書館との連携) (43) 県公文書館と連携・協力して、県図書館と県公文書館が所蔵する地域資料・県関係行政資料の利活用を促進します。	○横断検索システムでの連携について調整を進めた。	B	B	横断検索システムの連携について調整を進めたため。	

取組	行動目標	概要	2022年度事業の点検・評価		理由		
			事業計画	取組状況			
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	⑧ 多様なメディアを活用した広報の強化	県図書館の活動を県民に知ってもらい、身近な存在となるようホームページ、ソーシャルネットワークサービス(SNS)や動画サイトなど様々なメディアを活用し、広報活動の強化に努めます。	(事業年報・館報の刊行)				
			(44) 「事業年報」及び館報「あゆち」の発行については、昨年度並みの時期の発行を目指すとともに、内容について、時宜に即したものとなるようにします。	○「事業年報」(10/28付刊行) ○館報「あゆち」(10月刊行)	A	A	「事業年報」について予定どおり発行し、「あゆち」については県政150周年にあわせた内容・時期に発行することができたため。
			(SNSの活用)				
			(45) 引き続き既存のSNS(Facebook、Twitter)の内容の充実を図るとともに、新しい種類のSNSの活用を検討し、フォロワー数の増加(5%)を目指します。	○SNSにて837回発信を行った。 ○3月末現在フォロワー数:2,546人(対3月末(2,345人)比 8.6%増)	A	A	フォロワー数増の目標値を達成したため。
			(46) 新しく導入した電子書籍サービスの一層の活用を促進するため、効果的なPRの方策を検討・実施します。	○電子書籍KinoDenトップのおすすめ本棚を定期的(月1回程度)に更新した。また、館内の展示とテーマを連動させた本棚も作成し、同時に館内展示でも電子書籍を案内した。 ○Twitterで2週間に1回程度電子書籍の紹介をした。	A	A	館内展示やTwitterなども活用し効果的なPRに努めたため。
			(ホームページの見直し)				
			(47) ホームページについて、トップページのバナーの配置などを見直し、情報が探しやすくなるように改訂します。	○バナー配置などを随時修正した。 ○県のICT活用課題解決支援事業の実証実験(情報政策課)に参加し、実証実験としてチャットボットをWebページに搭載した(11月~1月)。2月に実証実験報告書作成、3月に成果を公表した。	A	A	目標通り実施できたため。
		(主要紙での広報)【運営指標】					
(48) 主要紙での広報について、県図書館の取組みを伝えるもの(企画展示の案内を含む。)が80%以上となるようメディアに働きかけます。	○以下について記者発表を実施した。 ・リベラルアーツカフェ(3回) ・文化芸術に関する連続講座(1回) ○主要5紙の記事掲載15件のうち、15件全て(100%)が県図書館の取組みを伝えるものであった。	B	A	目標値を達成したため。			
		(電子書籍サービスのPR)					
(49) 新しく導入した電子書籍サービスの一層の活用を促進するため、効果的なPRの方策を検討・実施します。《(46)の再掲》	《(46)と同様》	A	A	館内展示やTwitterなども活用し効果的なPRに努めたため。			
		(会議やアウトリーチ活動等での広報)					
(50) 引き続き、会議や研修、アウトリーチの場を使い、県図書館の広報に努めます。	○県図書館を会場とした以下において県図書館を紹介した。 ・愛知県公立図書館長協議会定例会(4/21) ・県民文化局局内研修(5/13) ・高校生ビブリオバトル愛知県大会・子供読書活動推進大会(11/3) ○久屋ぐるっとアートで「愛知県図書館報『あゆち』23号「特集 図書館と学ぶ愛知県事始め」パネル展」を実施(11/3~11/6)。 ○高校で県政お届け講座を実施し、図書館について説明(1/18)。	A	A	会議や研修の場で、県図書館の紹介を複数回行うことができたため。			

